

庄川水系利賀ダムの建設に関する 基本計画変更(案)概要

1. 概要

現基本計画は、H6. 11に策定されたものであり、ダム高、工期、事業費の変更を行うものである。

現時点での事業費ベースの進捗率は約30%である。

2. ダム高の変更

堤高を110.0mから112.0mへ変更。

地質調査及び堤体設計進捗の結果、右岸ゆるみゾーンを避けるような形でダム軸を下流側へ変更する。

3. 工期の変更

工期をH20年度からH34年度へ変更。

工事用道路（ダム完成後は国道として県へ引き渡す）の安全性・維持管理性から大規模構造物（トンネル等）への変更に伴って工期を延伸する。

4. 建設に要する費用の概算額の変更

事業費を900億円から1,150億円へ変更。

現行計画と変更計画案の比較

項目	現行 (H6. 11策定)	変更案
建設目的	①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持 ③工業用水道	変更なし
規模及び形式	堤高 110.0m 重力式コンクリートダム	堤高 112.0m 変更なし
貯水池容量配分	総貯水容量 31,100千m ³ 洪水調節 19,700千m ³ 不特定用水 6,220千m ³ 工業用水道 480千m ³ 堆砂容量 4,700千m ³	変更なし
取水量	工業用水 8,640m ³ /日	変更なし
工期	平成元年度～平成20年度	平成元年度～ 平成34年度
総事業費	900億円	1,150億円

利賀ダム基本計画変更概算事業費総括表

(単位:億円)

変更項目	事業費の 増減額	変更の概要
1.ダム本体関連による増減	▲ 102	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削量の変更による減 ・堤体コンクリートの変更による減 ・基礎処理工の変更による減
2.貯水池地すべり対策工の増減	81	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査結果に伴う対策箇所を増
3.工事用道路・付替道路関連による増減	140	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート及び道路構造物の見直し(トンネル延長の増、橋梁耐震性強化、法面対策の増)による増
4.地質調査・設計解析の増減	39	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム本体、工事用道路、地すべり対策の追加地質調査・解析、及び設計・施工計画の追加検討による増
5.用地・補償費関連による増減	▲ 9	<ul style="list-style-type: none"> ・用地補償面積、工作物等の増加に伴う増 ・既設発電所の補償方法の見直しによる減
6.その他による増減	73	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査の追加による増 ・環境保全関連調査の変更による増
7.消費税率改正等による増減	28	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税率改正(3→5%)による増 ・物価上昇による増
合計	250	